



CITY OF NAGASAKI

メッセージ

このたび、「国分寺市平和祈念式」の開催を迎えるにあたり、長崎市民を代表してメッセージをお送りします。

主催者の皆様におかれましては、戦没者を追悼し、平和への思いを新たにするために、毎年「平和祈念式」を開催されていることに深く敬意を表します。

1945年8月9日午前11時2分、一発の原子爆弾により長崎の街は、壊滅的な被害を受け、7万4千人の尊い命が奪われ、7万5千人の方々が負傷しました。

原爆による悲惨な体験を、世界中の誰にもさせないために、被爆者をはじめとする長崎市民は「核兵器のない世界」の実現を訴え続けています。

世界に目を向けると、長期化するウクライナ危機の中、核兵器使用のリスクが一層高まっており、核兵器を巡る国際情勢は混迷を深めています。核兵器の脅威から地球と人類を守る唯一の方法は、「核兵器廃絶」しかありません。そして、それを実現するためには、被爆者や戦争体験者からの平和のバトンを途切れさせることなく未来へつなげ、これまで以上に力を合わせて、核兵器やその使用の引き金となる戦争をなくす声を大きくしていくことが重要です。

「国分寺市平和祈念式」を通じて多くの人たちが平和のためにできることを考え、一步を踏み出す契機となることを期待しています。

最後に、主催者の皆様方をはじめ、本日ご来場の皆様の今後ますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

令和5年8月15日

長崎市長 鈴木 史朗